

平成 27 年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	ウラン系重い電子物質の超伝導解明と新奇超伝導状態の探索
研究代表者	石田 憲二（京都大学・大学院理学研究科・教授）
研究期間	平成 27 年度～平成 31 年度
審査結果の所見	本研究の材料、測定、理論を分担する各研究メンバーには実績があり、全体として強力な研究体制が組織されていると判断できる。純良なウラン系試料を作成することができる機関は世界でも限られているが、本研究は、これを実行できるメリットと多方面からの測定を最大限に活かした研究計画である。強磁性が超伝導をもたらす機構について明らかになれば、遷移金属系を含むより広汎な系を対象とした展開も期待できる。 以上の理由により、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。